比喩で広がる言葉の世界 (2)

森山 卓郎

次の表は、教科書本文の内容をまとめたものである。

段落	内容
1・2	**導入** 「土」の詩
3	**比喩の定義** ある事柄を、似たところのある別の事柄で表すこと。 ・比喩を使う上で大切なこと たとえるものと、たとえられるものとの間に共通点があり、それが広く共有されていること。
4・5	**比喩の効果** ①形状をわかりやすく伝える効果。 ・具体例　「ドーナツのような形」 ②物事の特性をより生き生きと印象づける効果。 ・具体例　「雷のような大声」
6・7	**比喩の発想が生きている表現** 「頭の中に入れておく」「深く感謝する」　など
8	**まとめと主張** 比喩は言葉の世界を豊かに広げる。私たちは、比喩を使い、表現を創造していく力をもっている。

（1～8は教科書本文における形式段落番号を表します）

確認テスト 教科書本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) 次の文が比喩の定義となるように、解答欄に当てはまる言葉を教科書本文中から答えなさい。

比喩とは、ある事柄を、［　　　　　］のある別の事柄で表すことである。

(2) 形状をわかりやすく伝えるという比喩の効果を説明するために挙げられている具体的な表現を選びなさい。

ア「頭の中に入れておく」　**イ**「雷のような大声」
ウ「ドーナツのような形」　**エ**「深く感謝する」

〔　　〕

(3) 物事の特性をより生き生きと印象づけるという比喩の効果を説明するために挙げられている具体的な表現を選びなさい。

ア「頭の中に入れておく」　**イ**「雷のような大声」
ウ「ドーナツのような形」　**エ**「深く感謝する」

〔　　〕

(4) 次の文が本文のまとめとなるように、（　　）に入る言葉をそれぞれ選びなさい。

比喩は（①）の世界を広げるものであり、伝えたいことをよりわかりやすく、より印象的に表現することができる。私たちは、比喩を使って表現を（②）していく力をもっている。

ア 形状　**イ** 言葉　**ウ** 創造　**エ** 特性

①〔　　〕　②〔　　〕